

受講料
無料

現代の教育課題をかんがえる

世界の中の 日本

台湾の近代産業遺産から学ぶ国際理解

外国人問題が選挙争点になり、学習指導要領に「グローバル化」が登場したり、今、国際社会での日本の在り方が問われる。台湾史では、「史前と大航海時代」、「清帝国統治期」、「日本統治期」、「戦後台湾」に区分され、「日本統治期」の評価は、近代産業遺産の評価と大きく関わる。「日本統治期」がどのような視点で語られ、そこから国際社会の中での日本の在り方について、日本の教育が如何なる示唆を得られるか考えたい。

講師

鳴門教育大学 大学院 教授 金野 誠志

文教大学教育学部卒業後、広島県公立学校教員やシンガポール日本人学校教員、鳴門教育大学大学院学校教育研究科終了
2013年度より鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授、
2022年度より教授

司会

教職支援連携センター次長
教育人材活用部門長
教育学部 学校教育課程 教授
伊藤 裕康

日時

2026年1月24日(土) 13:30～15:00(受付開始13:00)

会場

文教大学 越谷キャンパス8号館

申し込み方法

専用申込フォームから
お申込みください。

対象

教育関係者、教員志望の大学生

定員

100名 (申込順・定員になり次第締め切ります)



お申込みはこちら▶



主催 文教大学教職支援連携センター

問合せ先

文教大学地域連携センター 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

TEL 048-974-8811 [代表] メール kshougai@stf.bunkyo.ac.jp

アクセス

東武スカイツリーライン・東京メトロ日比谷線直通 北越谷駅下車 徒歩 約10分
駐車できるスペースがありませんので、車・バイク以外の交通手段をご利用ください。



文教大学

